

実施計画事業名		民生児童委員活動支援事業			評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部社会福祉課			課長(主幹)名	熊谷 悦子			
総合計画体系	分野	2	保健・医療・福祉						
	政策	3	支え合いだれもが安心して暮らせるまちづくり						
	施策	1	地域の助け合いによる福祉を推進します						
	関連施策								
現状と課題	地域住民同士の交流が希薄になっていく現状で、高齢者や障害者・児童など社会的に弱い立場の人々を地域でいかにサポートしていくかという点が課題となっている。このような地域の福祉需要が増大するなか、民生委員の日常的な相談・支援の活動の重要性は大きくなっているため、適正な人員の確保と活動を支える体制の確保が必要である。								
目的	民生委員・児童委員が社会奉仕の精神で、常に住民の立場にたつて相談に応じ、必要な援助を行うことにより、高齢者・障害者・児童・子育て家庭・孤独な人等支援を必要とする人々や住民同士のつながりを支え、地域住民の福祉の向上を図る。								
5ヶ年展開の施策	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域住民のニーズに応えるべく的確な援助、指導を行い地域福祉の推進を図るため、民生委員・児童委員の活動を支援する。また、法令に基づく定数の確保等を行う。 ◆ 地区民生児童委員及び民生児童委員連絡協議会への活動費の補助 ◆ 民生児童委員として適正する者の推薦を行う民生委員推薦会の開催 (H22.12、H25.12は一斉改選、ほか任期途中での辞任又は死亡による補充) ◆ 民生児童委員の活動を市民にPRし、地域の中で民生児童委員が取り組むべき役割について理解を深めてもらう。 								
成果指標	名称		単位	22年度	23年度	25年度			
	部会、例会、研修会等活動状況		件	目標	400	400	400		
	説明		各地区民生委員・児童委員協議会が、協議会として実施・参加した例会、部会、研修会等の延べ回数の合計(各地区の活動状況報告から)		実績	427	483		
活動指標	名称		単位	22年度	23年度	25年度			
	相談・支援活動状況		件	目標	13,020	13,050	13,100		
	説明		各民生委員・児童委員が行った相談・支援の年間延べ件数(厚生労働省 福祉行政報告例による報告件数)		実績	12,524	12,983		
	部会、例会、研修会等への参加人数		人	目標	2,600	2,600	2,600		
	説明		各地区民生委員・児童委員協議会が、協議会として実施・参加した例会、部会、研修会等の延べ参加人数の合計(各地区の活動状況報告から)		実績	2,991	3,182		
	民生委員(児童委員)数		人	目標	121	121	121		
	説明		厚生労働大臣が委嘱して本市に配置された民生委員(児童委員)の人数(毎年4月1日現在)		実績	121	121		
	説明				目標	-	-	-	
				実績					
事業費の実績			単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	14,540	14,460	14,488			
	国庫支出金		千円	0	0	0			
	道支出金		千円	8,306	8,290	8,297			
	起債		千円	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0			
	一般財源		千円	6,234	6,170	6,191			
	この事業にかかる職員数		人/年	0.17	0.59	0.14			
人件費(B)		千円	1,154	4,103	974				
計(A+B)		千円	15,694	18,563	15,462				
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化								

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 近年、地域間の人間関係の希薄化により、民生委員・児童委員の活動に求められるものが増えてきている。こうしたことから、活動がスムーズにできるよう連携を強化し、研修会などへ積極的に参加するほか情報交換などを行う。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--